

国際コミュニケーション特論

	S	A	B	C	D
異なる言語や文化におけるコミュニケーションの問題や専門分野における諸課題に関して言語情報学的処理を活用しながら収集、発見、探求、分析、考察することができる。 (A-1) (B)	異なる言語や文化におけるコミュニケーションの問題や専門分野における諸課題に関して言語情報学的処理を活用しながら、明確な目的意識をもって収集、発見、探求、分析、考察することができる。	異なる言語や文化におけるコミュニケーションの問題や専門分野における諸課題に関して言語情報学的処理を活用しながら、適切に収集、発見、探求、分析、考察することができる。	異なる言語や文化におけるコミュニケーションの問題や専門分野における諸課題に関して言語情報学的処理を活用しながら、十分に収集、発見、探求、分析、考察することができる。	一部不明な箇所はあるものの、異なる言語や文化におけるコミュニケーションの問題や専門分野における諸課題に関して言語情報学的処理を活用しながら、ある程度収集、発見、探求、分析、考察することができる。	異なる言語や文化におけるコミュニケーションの問題や専門分野における諸課題に関して言語情報学的処理を活用しながら収集、発見、探求、分析、考察することができない。
本科目で取り上げた問題や課題について批判的に考察し、客観的に提示(プレゼンテーション)することができる。 (B)	本科目で取り上げた問題や課題について批判的に考察し、客観的に提示(プレゼンテーション)することが明確にできる。	本科目で取り上げた問題や課題について批判的に考察し、客観的に提示(プレゼンテーション)することが適切にできる。	本科目で取り上げた問題や課題について批判的に考察し、客観的に提示(プレゼンテーション)することが十分にできる。	一部不明な箇所はあるものの、本科目で取り上げた問題や課題について批判的に考察し、客観的に提示(プレゼンテーション)することがある程度できる。	本科目で取り上げた問題や課題について批判的に考察し、客観的に提示(プレゼンテーション)することができない。